事業目的（案）

我々の団体は、在住外国人が主体となり、都内在住の外国人が真のインテグレーション（日本人コミュニティーとの癒合）を実現するための支援を行い、平時における生活の支援、有事の際には、外国人が言語の壁による情報弱者にならないよう外国人が欲するであろう情報を発信するほか、補助員やメンバーができうる限りでの対面または電話などによる直接対話型の支援活動を行います。

上記の目的を達成させるために、我々は主に二つの費用について東京都に助成をお願いいたします。一つ目は弊団体の活動の基幹となるSNSソーシャルネットワークでの運営サイトの維持、拡充のための費用です。二つ目は勉強会の開催、シンポジウムや防災展~~祭り~~などの~~イベントの~~開催費用です。

我々は昨年、東京都より助成を頂き~~この~~サイト（JAPAN　BULLETIN　BOARD）を立ちあげ、運営してまいりました。弊団体にはＳＮＳでの情報発信のプロフェッショナルが在籍しており、また外国人が主体となって運営する組織のため、外国人が何を求めているのかを的確に把握することができます。そして理事長含めて補助員にメディア関係の補助員が多数在籍しているので、誤った情報いわゆるフェイクニュースに惑わされないよう、かつ、ユーザーが必要とする情報に厳選して発信しています。

フォロワー数は初年度で７００人に達しました。

また、弊団体の呼称にもある「掲示板」機能です。我々のサイトには外国人が自由にアクセスでき、彼らが発信したい情報や画像も掲載することをできるようにします。この掲示板機能によって、在住外国人の都内での生活がより豊かになることを目指します。これについては、綿密な準備作業に大幅な時間を要し、実際に運営スタートが２月前後と短い期間での運営であったため、十分な成果をあげたとはいえない結果となりました。

さらに、事前に登録しないと投稿できないという課題点もみつかりました。

昨年度の活動においては、サイトの運営だけでなく、勉強会を通じての防災パンフレットの制作と２か月に１度程度に都内で開催される防災イベントへの参加については

優秀な成果をあげたと考えております。

今年度の目標は、サイトで発信する情報の拡充を図り、フォロワー数と掲示板の利用者数を大幅に増やします。たとえば、外国人ではなかなか見つかりにくい賃貸物件情報であったり、医療機関であったり、数年間の滞在が多い外国人特有の悩みとして家具や電化製品の調達・放出などもあります。こうした情報を我々のサイトを通じて交流することで少しでも都内での生活の支えになれればと考えています。

そして掲示板機能は特に有事の際、災害時で威力を発揮すると考えています。災害時においてはどこが危険であるのか、どこへいけば何があるのか、外国人同士や外国人と日本人間で情報を共有することで、よりスムーズに危機対応がすることができます。弊団体には先述の通り、ＳＮＳでの情報発信のプロフェッショナルや理事長含めて補助員にメディア関係の補助員が多数在籍しており、また外国人が主体となって運営する組織のため、外国人が何を求めているのかを的確に把握できるほか、誤った情報いわゆるフェイクニュースに惑わされないよう、かつ、ユーザーが必要とする情報に厳選して発信していることが弊団体の大きな強みです。着実にフォロワー数を増やしておりますが、今年度は新たな試みとして動画の配信を開始するなどサイトの拡充を行い、更なるフォロワー数の増加を目指します。

また、今年度についても、勉強会の開催、シンポジウムや防災展などの開催費用について助成金のお願いを申し上げます。昨年度は１０回に渡り勉強会を開催し、治体職員、駐日大使館職員、研究者等を講師に招き、過去の日本の災害や防災政策、地域コミュニティによる共助精神の大切さ等について講演を頂き、参加者との意見交換を行いました。また、サイトに寄せられた意見や、勉強会にて集約した意見を参考にして災害時に外国人に必要な情報のリストアップを行い、避難所を探す手順等、災害時の行動規範や必要な手続きなどに関しての外国人向け防災マニュアルを作成し、大使館や、交通関係会社等に配布しました。今年度も引き続き年に１０回程度の勉強会を開催し、東京都が主催する外国人に向けた防災訓練などへの参加を予定しております。また新たな試みとして１00人規模の防災~~祭り~~展を開催します。これまで数多くの災害支援活動の実績を持つ日本財団等と連携し講演会など~~イベント~~等を行い、ネットだけでない現実社会においても人的交流を促進させ、より多くの外国人にわれわれの活動を知って頂く機会にしたいと考えます。

最近は多くの団体や自治体が多言語による情報発信などのサービスを始めていますが、HPによる告知のみといった一方通行な情報提供が多く見受けられます。しかし、我々の団体はsnsや、勉強会、防災~~祭り展~~等~~のイベント~~を通して平時よりコミュニケーションを図ることにより、外国人が有事の際に何を求めているのか？どのような手段が効果的なのか？また、外国人自身が有事の際、どのような社会貢献活動ができるのか？そういった外国人が真に欲しているにニーズを把握し、より有益な情報を引き続き発信して参る所存です。

外国人に平時より防災意識を高く持ち続けて頂き、有事の際には冷静な判断で行動をして頂くための環境づくりのため、以上二つの項目についての助成をお願い致します。